



が ん ば

島 三 小
育 友 会 報
一 発 行 一
教 養 部 会 報 班

キヤンブ

フアイヤ

六年 本田 光二

夕ぐれの中に
まつくろな みんなの顔。
いよいよキヤンブフアイヤが始まるぞ。

かけの頂上からかけられたひもをつたつて、火の玉がすべり落ちた。「ほおっ！」

すごい勢いで、下にくまれた大木に燃えりつつた。

まっか燃える。とても暑い。浮きあがつたみんなの顔、顔、顔。

いつの間にか、みんなの歌声が、元氣いつぱいにひびいてきた。

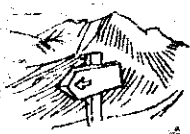
みんなのひたいに光る汗。はげしくもえる火。

肩をくんだみんなの影が、大きくゆれる。

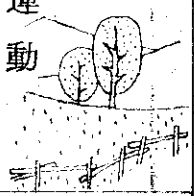
小さくゆれる。もつと燃える、もつと燃え続けよ。

キヤンブフアイヤの火よ。

八月十九日夜



正しく美しいことばの運動



松本 巖

ことばの運動をはじめてから五年目をむかえた。保護者、白山地域の方々のご協力によりまして、だいぶ人よくなつたようです。

ことばは人間の心と心のかげ橋であり、人の心のあらわれであります。きたないことばは、きたない心のあらわれ、美しいことばは、美しい心のあらわれ、やさしいことばは、やさしい心のあらわれ、あらいことばは、あらあらしい心のあらわれです。ことばは、すばらしい力をもつています。よしにつけ、あしきにつけ、ことばは人の心をひつばつていくものです。初秋の朝の風はすがすがしい。どんよりとくもつた、しめつぽい空を見れば、心までがどんよりとしめつぽくなります。野道に咲くすみれはいじらしく、たんにひろがるれんげ草は、うれしくはなやかです。肌を感じるもの、目に見えるもの、海も空も一木一草も、無心ではあつても、人の心に何かの感懐をおこさせます。ことばは、その人の心のあらわれで

あつてみれば、無心である雲や花よりもいつそ、相手に対して強いはたらきをするものです。わたくしたちは、正しく美しくやさしい国や郷土をつくらねばなりません。美しいことばの花吹雪の中に立てば、身も心も美しくなるはずで。美しい心は美しいことばをそだて、美しいことばは美しい心を育てます。島原市は観光立市を標榜しています。そして今、全国各地から数十万人の観光客を送りむかえているのです。旅すればことばなつかし、島山もきよらにしみて去りがたきかな。本市は水清く山秀で、旅人の心をなぐさむるにすぐれたところ。さくらに、この上に心清くことばの美しいところにしなればなりません。旅する人にとつては、その土地の美しくやさしいことばや親切が、ただただなつかしく、島山の美しい風景といつしよになつて、心にしみ目にしみ、去りたくないなあという情をおこさせるものです。誰しも美しい言葉と悪い言葉は知っています。しかし、知つておつても使いたれて、いることばは、いのこづちのように

人の心の着物にくつついてはなれようとしません。また、美しいことばも悪いことばも、自分一人では使いたくもないもの。ことばは、おてつないで輪になつてこそ使われるものなのです。美しいことばづかいをするのには、勇気がいると同時に、みんなといつしよに力をあわせなければなりません。世界は小さくなりました。テレビによつて、遠い国々の人の姿やことばをそのままに見たり聞いたりすることのできる時代です。島原の空にも、世界中の電波のことばが流れているのです。もう、方言に対する未練を捨てましょう。一国一城の政治、貨幣、ことばの時代は遠い昔のことです。山の彼方の空遠く幸住むと人のいふ……幸福の青い鳥を求め、心は誰の心のなきさにも波うつているものです。正しく美しいことばを求め、心は、実は青い鳥を求め、心なのです。先日お願いしましたことばの調査をまとめて近くおぐばりする予定です。どうぞ皆さんのご協力を、よろしく願います。



体力テストを実施して

男子	女子	懸垂	ソフトボール投	走高跳	走巾跳	走高跳	走巾跳	走高跳	女子
走 五〇米	走 五〇米	四年 本田 九回	四年 森川 三三米	五年 鈴木 一米二〇	四年 酒井 三米六七	五年 鈴木 三米六九	四年 堀口 十六秒一	五年 堀口 十六秒一	四年 金井田 八秒四
四年 酒井 八秒〇	四年 堀口 十六秒一	五年 本田 十四回	五年 堀口 三九米	六年 宮崎 一米二〇	五年 鈴木 三米六九	五年 鈴木 三米六九	五年 堀口 十六秒一	五年 堀口 十六秒一	五年 金井田 八秒四
六年 酒井 八秒〇	六年 堀口 十六秒一	六年 高口 十六回	六年 宮崎 四六米	六年 梅田 一米二〇	六年 梅田 四米十一	六年 梅田 四米十一	六年 堀口 十六秒一	六年 堀口 十六秒一	六年 金井田 八秒四
六年 堀口 十六秒一	六年 堀口 十六秒一								

少年ソフトボール大会	走巾跳	走高跳	ソフトボール投	懸垂
川尻チーム準優勝	六年 園田 十五秒九	五年 内田 一米二〇	四年 堀口 二〇米	四年 新田 四〇秒
	四年 松田 三米三〇	六年 大町 一米二〇	五年 片山 三〇米	五年 清末 一分〇秒
	五年 内田 三米四三		六年 石橋 三五米	六年 細名 一分〇秒
	六年 園田 三米九四			六年 豊田 三六秒

去る八月二十六日・七両日にわたつて行なわれた市内少年ソフトボール大会において、準優勝とはいえず見ごと市長杯を獲得、個人賞としても殊勲選手として岩永幸夫君が選ばれた。

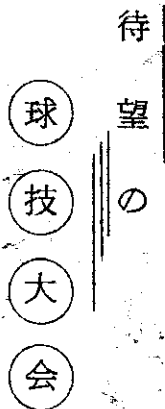
少年ソフトボール大会
川尻チーム準優勝

優勝
男子 ④下川尻南北 B川尻
女子 ④下川尻南北

④下川尻南北 ⑤中組馬場上下
昨年までは全体で一位、二位、三位を男女ともにかめていたが本年は思考をあらたにして男女ともA班、B班に分け実施しました。

この方法をとつた理由は少年団員の人数の差が大きい事である。このためA・Bに分け人数の少ない少年団にも興味を持たせ練習と試合にはげませたのである。この結果は優勝は右の通りである。二位以下は男子A班二位 蛭子町 三位 湊新地 B班二位 白土下 三位 栗町 女子A班、二位 新山 三位 靈南 桃山 白土上、B班二位 坂下 八幡町 三位 崩山の結果でした。

本年度は前日の準備に育友会の方々が手伝つて下さり大変なすかりました。手伝つて下さつた育友会員の皆様には心より感謝いたします。



県 P T A 大会に

参加して

加藤 和子



本大会の研究主題である「子ども
のすこやかな育成をはかるために P
T A の使命はどうあるべきか。」に
ついてこの炎天下県下各地より集つ
た一五〇〇名の会員が七分科会、
三三分散会場に別れて日頃の貴重な
研究や実践の成果を持ち寄つて熱心
な討議を重ねられていた様子には本
当に頭の下る思いが致しました。
各地区と各々困難な問題点のある
中で実状に応じた方策を立て熱情あ
ふるる活動がなされていることを知
り明日の私達の活動に更に力を与え
るものがありました。

昨年は私たちの三小ではこの大会
で優秀 P T A として表彰を受けまし
たが、本校としてもまだまだ残され
た問題点は多々あると思えます。
幸にして本大会に本校からも会員
多数が参加され県下各地の会員と十
分な討議を重ねられたのを機会にこ
の会で得た多くの成果を軸として今
後の私たち会員の活動が活潑に押し

進められて行くものと思えます。
この後も一会員として、親として
の学習を怠らず、子どもたちの健全
な成長をはかつて、いきたいと思ひ
ます。

浦田舟津上

坪田好子

口ノ津の小・中学校・家庭共に挨拶をする事と、なにでも仕事をたのしむ時には、「すまないが」「すみませんが」の一言を云つてたのむとの事を聞いて本当に、そういわれると私達も子供にも大人の人にも、その一言を聞くとき、いやだなあと思つていても、すまないがと云われれば「はい」と返事をして行くようになると思ひました。それで私達も、町内育友会でも、今度の育友会の時でも話し合をしてすこしずつでも実行して行きたいと思ひます。

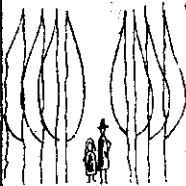
それから口ノ津の人もこれは何回か課題に取り上げてくりかえされて今はすこしずつに行つていふこととてしたので私達もきながにやつて行けばやつて行けるものではないかと思ひます。

蛭子鼻

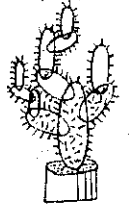
中島清吾

私は第五分科会に属し、マスコミの子供に与える影響をどのように正

しくみちびくか、これが研究テーマでした。私も常に関心を持つておりました。参考になる御意見ばかり
佐世保地区のおかあさんは、夕食時のマンガ等も子供の心になつて一緒に見るし成績も上の方でさしてテレビの害は見当らないとのこと。
私など子供がはしを持つ手も止めて見入つていると早くさつさと食べなさいと小言が先、奥様は魔女や、サザエさんなど、おそくまで見ていると、勉強はせんでテレビばかり見ると叱つて居りました。そのドラマの中からどんなことを感じたか子供と話し合う方が福とされるんではないかと教えられた。
二日目は宮崎先生の夢あつての人生の講演は、天変感銘深く拝聴し、その学識とユーモアをまじえた弁舌は初めて接する私には、むしろおどろきでした。
この大会が、地元で開催され、しかも参会の機会に恵まれたこと感謝せざるを得なかつた。
今後あらゆる機会や催しなど寸暇をさいても出席せなければ大きな損をすることを痛感した。



会 員 の 声



『水と空気と土』

『水と空気と土』

古い父親

都心のある家校では運動場がセメントで道路はほとんど舗装。土がない。いわゆる土ふまずの生活。はだして朝夕の冷たい土、焼けつくようなま昼の土、ぬかるみの中で、指の間から土がとび出る雨降りの土、そのういう、ハダシで土をふむ感触は今の子供の生活からは考えられないようになってしまった。泥いじりで顔をまっ黒にしておかあさんから叱られている。図もほとんどみなくなつた。食前の手洗いからマニキュアまでする今の子どもの手は美しいがたくましさはみえない。こうして土を忘れ自然を忘れていく子どもの心をさびしく思う。

きれいな空気。これは何といつてもありがたい。高原の水のゆたかさとともに子どもはすばらしい恩恵の中で育つていく。都心の汚れた空気の中を経験すればこのありがたさをあらためて発見するだろう。水と空気と大地に恵まれた高原に

も人工的に徐々に健康な自然は浸蝕されつゝある。排気ガスと騒音の中から薬剤と殺虫剤の中から人や動物のいのちが散つていく。こういふ中で子どものいのちを守り育てていかねばならない。学校ではいろいろ計画されて感謝にたえない。

子どもは万金といわれる規制の中で成長していく。しかし心の中の欲望や冒険心まで規制できない。土の中でね、蟬取りに時間を忘れ、宿題を忘れ遊びほうける夏休みがほしいのではなからうか。いつそ来年あたりから大学ノート一冊を与えて宿題全廃はどうかと考えたりもする。

※ ※ ※ ※ ※

「会 員」

「時は金なり」と諺にもありますが会議や集会等では、多くの人の大切な時間を奪つて平然としている方が案外と多いようです。

自分の時間を勿論大事にしなければなりません。が、人間誰しも生を受けたからには、何かを成したいものと希い努めておられると思えます。七〇才まで生きるとしても、三十五才の人なら後三〇六、六〇〇時間しかない。時計の針の動きにつれてそれだけ休みなしに減つてゆくのだからたまた

ない。今という時は唯一度であり、録音テープのように繰返しは出来ないから生命を小刻みにしたものだといえよう。くどくなつてしまつたけど、要は、誰しも生命は大切だろうから、自分にひきくらべ他人の時間をもつと大切にしたいと願うものです。

※ ※ ※ ※ ※

河 北 あき子

平凡な主婦である私には立派な意見も、感想も書けません。が感じたことをそのまま述べてみます。

研修旅行で天草の小学校に行きました。ベルマークをたくさん集めたのを掲示して有りましたのに感心し反省しました。私のようなお母さん方もいらつしやると思いますので、三小でも掲示して下さるとお母さん方も気にとめられるのじやないかと思えます。

皆様に負担を掛けなくて、子供たちが使う運動具や、学習用具を無償で手に入れることが出来るので、町内の人にも呼びかけて、ベルマークを集めようと思つていきます。



※ 少年団行事 ※

よ ろ こ び

森川茂寿

「ガツチイコー」 真黒な顔
元気な声 飛びあがつて喜ぶ子供の
顔、顔、顔、どの顔もク
美しい、きれいに見える実にきれいだ。

何日間かものすごい炎天に
猛練習によく頑張ったものだ。
素直なよるこび、少々大げさな表現
かも知れないが、チームワークの賜
だと思ふ。何事も真剣に熱中すれば
出来る。人の和は自然には出来ない
すべて訓練だ。よく物事を相談し、
納得しあいお互を信頼すれば出来る
小さなことでも個々のプレイに走つ
ては駄目だ。少年団の行事にも進ん
で参加してこのよるこびを皆んなで
分け合いたいものだ。

今後三小を巣立つても このよるこ
びは忘れることは出来ないだろう。
いや社会に出ても、思い出として、
消えることはないだろう。

三年連続優勝出来たのも町内の人
達のおかげと先輩の適切な指導
も忘れてはならない。
この斗魂を忘れず勉強されんこと

をこい希つてやみません。

子

供

し

つ

け

一 会 員

「オイゾ〇〇。」呼んでも 呼ん
でも返事もしない。

「ナニニ」。やつと返事はしたが
立ちもしない。テレビに熱中して
いるのだ。「返事をしたらすぐ立ちな
さい。」一寸用事を頼むつもりが、
つい言い争いになつてしまつたと「オイ
ではない 子供だヨ」なん 云い出
すから「学校ではそのように習うの
か」といえば「自分のことは、自分
でしなさいと教つたよ。」なんて自
分の子供ではあるが小憎くなるよう
な仕末、しつけが悪いので、仕方な
いと思ふが、

他所ではこのよる子供もいないで
しように
さて、どのよるにしつけておられ
るのかと、うらやましくなる。

しつけについてどのよるにしておら
れるのか？
次の会報でも、ど教示下されれば幸
甚です。

去る六月三十日市内六校の優良児
の審査によりみごと石橋さんが市内
一位となりました。

健康優良児に
六年二組 石橋教子さんなる

また、県の一次審査
においてもみごと合
格し、来る八月三十
日二次審査に臨むこ
とになりました。
石橋さんは、体は
もちろんのこと、学
力、運動能力ともに
すぐれ、明朗活潑で
学校での人気者です。
来る八月三十日の
二次審査でも、合格
する事を期待し、皆
様とともに祝福して
あげたいと思ひます。

◎お知らせ

九月廿四日(日)

十一月十五日(水)

秋季大運動会
国語研究発表会

編集後記

会報班
育友会報が「が ん ば」第七号をお届
けします。はじめての者ばかりで、
思うよりな編集がでなかつたこと
を、おわび致します。